

探求型 科学者の卵養成講座 第2回 特別講義

堀井 明先生からのレポート課題

課題1：以下の A,B のいずれかに回答をしてください。(両方回答してくれても良いです)

A:免疫チェックポイント抗体の効果を左右する因子として、どのようなものが考えられますか。

B:大腸などの多くの腫瘍では、サイズが1 c m以上になると悪性化していることが多いことが知られています。この現象は、どう考えると説明できるでしょうか。

課題2：がんの原発巣と転移巣の間には特別の関係が見られることがあります。例えば、前立腺がんは骨に転移しやすい、肺がんは脳に転移しやすい、胃がんや膵がんは肝臓に転移しやすい、などです。これらの現象はどう考えると説明できるでしょうか。

課題3：今日の講義の感想、コメントなど、自由に書いてください。質問も OK です。